

下記の症状は血栓症※が疑われる症状です

次のような症状が現れた場合は、**すぐに救急医療機関を受診**してください。

- 突然の足の痛み・腫れ
- 手足の脱力・まひ
- 突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
- 激しい頭痛、舌のもつれ・しゃべりにくい
- 突然の視力障害(見えにくいところがある、視野が狭くなる)など

次のような症状が現れた場合は、**血栓症の疑い**があります。症状が軽くても**飲むのをやめてすぐに医師に相談**してください。

- 足の痛み・腫れ・しびれ・発赤・ほてり、頭痛、嘔吐(おうと)・吐き気 など

次のような状態になった場合、**飲むのをやめてすぐに医師に相談**してください。

- 体を動かさない、脱水 など

長時間同じ姿勢でいたり、水分が不足したりすると血栓症が起こりやすくなります。適度に体を動かしたり、こまめに水分をとるようにしましょう。

※血栓症とは：血管内に血の塊(血栓)が詰まる疾患で、医療機関での早急な対応が必要です。静脈血栓症としては、深部静脈血栓症・肺塞栓症(いわゆるエコノミークラス症候群、ロングフライト症候群)などがあります。

以下のときは、医師に相談・報告してください

- 激しい下痢または嘔吐が続く場合は、お薬の成分が吸収されにくいことがありますので、医師または薬剤師に相談・報告してください。
- 飲み忘れなど何らかの理由により妊娠の可能性が疑われるとき。
- このお薬を服用する前から、服用しているお薬がある場合、またはこのお薬を服用しているときに他のお薬を服用する場合、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 臨床検査を受けるとき。
- 妊娠を希望するとき。
- その他気になる症状があるとき。

服用を始めて1~2ヵ月は下記の症状が現れることがあります

- 頭痛 ● 軽度の吐き気 ● 月経(生理)とは違う軽度の出血 など

これらの症状は、特に飲み始めによく現れますが、通常は用法・用量に従って飲み続けるうちにみられなくなります。しかし、ひどい場合や長く続くときは、医師に相談してください。

その他、身体に何か異常を感じたときは医師または薬剤師に相談・報告してください。

バイエル薬品株式会社

医薬品リスク管理計画
(RMP)

ヤーズフレックス配合錠を処方された方へ

本剤は子宮内膜症に伴う疼痛・月経困難症のお薬です。避妊目的で使用することはできません。

ヤーズフレックス配合錠を飲み始めるタイミング

初めてお飲みになる方へ **本剤は「月経が始まった日」から飲み始めます。**

他のホルモン剤から切り替えられる方へ

他の黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合薬(月経困難症治療薬、経口避妊薬)から切り替えるとき

21錠タイプからの切り替え

- 現在服用しているシートの錠剤(21錠)を全て服用してください。
- 21錠飲み終え7日間の休薬の翌日からヤーズフレックス配合錠の服用を開始してください。

28錠タイプ(21+7、24+4)からの切り替え

- 現在服用しているシートの錠剤(28錠)を全て服用してください。
- 28錠全て飲み終えた翌日からヤーズフレックス配合錠の服用を開始してください。

ヤーズフレックス配合錠を飲み始める前の準備

① ウォレットパッケージを開けて、カレンダーシールをはがしてください。

ウォレット
パッケージ



カレンダー
シール



② カレンダーシールの使い方

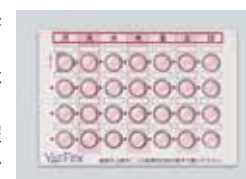
※残ったカレンダーシールは破棄せず保管してください。

- ① 服用開始日の曜日が左端に印刷されているカレンダーシールをはがし、錠剤シート上に右図のように貼り付けてください。



例：服用開始日が木曜だった場合

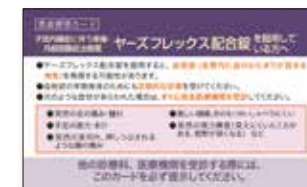
- ② 服用25日目以降シートの途中で4日間休薬した場合、休薬後は4日分曜日がずれるため、4曜日ずらしたシールを上から貼りなおしてください。



例：4曜日ずれた、左端が月曜日のシールを貼る。

患者携帯カードについて

このカードには、**血栓症に関する注意事項**が記載されています。ヤーズフレックス配合錠を服用中は、患者携帯カードを常に持ち歩き、他の診療科、医療機関を受診する際は必ず医師に提示してください。



ヤーズフレックス配合錠の服用にあたって、この説明書や患者カードをしっかりと読んでおきましょう

服用方法

※毎日一定の時刻(例えば寝る前など)に飲むようにしてください。

基本ルール

- 服用**
 - ・1日1錠、一定の時刻に毎日服用
 - ・服用開始から24日間は出血の有無にかかわらず服用
- 休薬**
 - ・服用25日目以降、連続3日間の出血があった場合は、その翌日から4日間休薬
 - ・120日間連続して服用した後は、4日間休薬
- 再開**
 - ・4日間の休薬期間が終わったら、その翌日から服用を再開

◆ 最長120日連続して服用できる場合

- 服用開始25日目～120日目の間で、連続する3日間の出血がみられなければ、最長120日まで服用できます。
- 120日間服用したあとは4日間休薬し、翌日から服薬1日目として服用を再開してください。



◆ 服用開始25日目以降に3日間連続する出血があった場合

- 服用開始25日目～120日目の間で、連続する3日間の出血がみられたときには、翌日から4日間休薬してください。
- 4日間休薬した翌日から、服薬1日目として服用を再開してください。



服用中の生活について

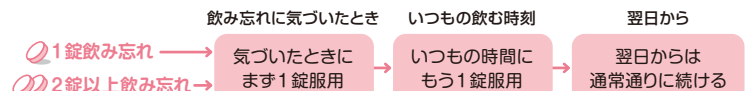
禁煙について

このお薬を服用している間は、喫煙により静脈血栓症、肺塞栓症、心筋梗塞、脳卒中等が発生しやすくなるという報告があります。この機会に、禁煙についても検討することをおすすめします。

定期的な診察を受けましょう

治療の経過や全身の状態を確認するため、医師の指示に従い、定期的な診察を受けましょう。

錠剤を飲み忘れた場合の対処方法



※飲み忘れた日数が多くなると、不正出血が起こる可能性が高くなります。飲み忘れに注意しましょう!